

第六次総合計画
前期基本計画

基本目標別計画

3

魅力にあふれ人が集う
活力あるまち



産業・交流 政策



1 地域特性を生かした観光・交流の推進

施策の目標

オンリーワンの魅力で世界から選ばれる観光都市を目指します！

現状と課題

国内外の市場トレンドの変化

- 人口減少を要因として、我が国の旅行消費額に占める割合が高い国内市場の縮小が懸念される中、観光産業の一層の振興により、国内外からの交流人口をさらに増加させていくことが期待されています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大によって、国内市場はもとより、インバウンド※1市場は特に大きな影響を受けていますが、感染症収束後においては、インバウンド市場は引き続き重要な位置づけとなると見込まれます。

観光客のニーズの多様化

- ライフスタイルや嗜好の変化、またインバウンドなどの観光市場の拡大により、観光客のニーズが多様化しています。
- 防災や感染症対策への関心が高まり、安心・安全への対応がさらに重要となっています。

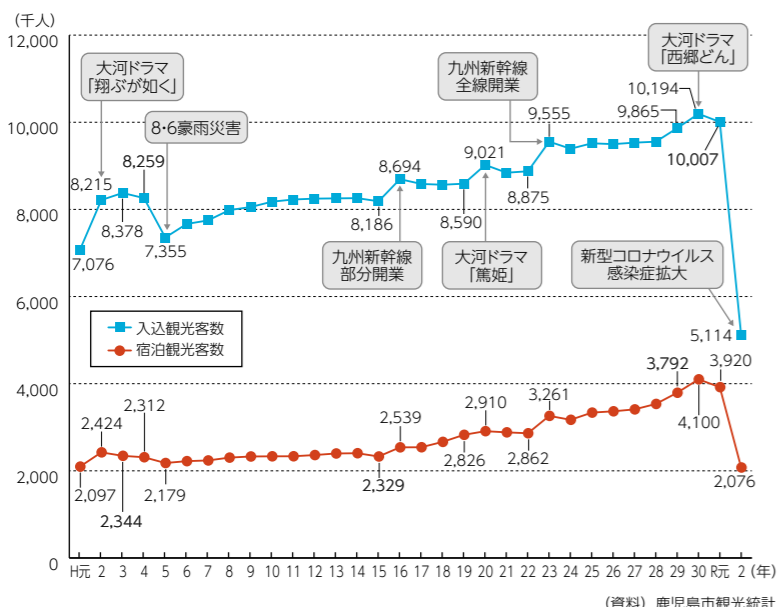
地域間競争の激化

- 観光への関心の高まりを背景に、さまざまな地域や業種が観光市場へ参入し、地域間競争が激化しています。

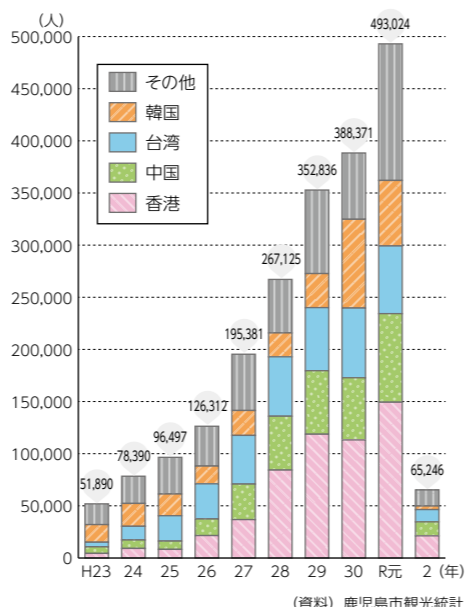
観光分野における急速なデジタル化

- スマートフォンを用いて情報収集から予約・支払まで完了するなど、加速度的に消費者行動が変化しています。
- 急速なスピードでICTが進化し、観光客の行動分析が進んでいます。

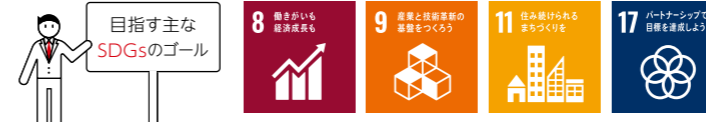
入込観光客数・宿泊観光客数の推移



外国人宿泊観光客数の推移



※1 インバウンド：外国人が訪れてくる旅行のこと。



基本的方向

- I 世界に誇れる個性豊かな観光資源を磨き上げ、オンリーワンの魅力づくりを展開します。
- II 多様な切り口による戦略的なプロモーションを展開し、稼ぐ観光の実現につながる一層の誘客に取り組みます。
- III 観光客の満足度をさらに高め、ホスピタリティあふれる安心・快適な受入環境の充実を図ります。

施策の体系

- I **オンリーワンの魅力創出**
 - 個性あふれる観光メニューづくり
 - ◆世界文化遺産の活用や桜島・錦江湾ジオパーク※2の取組の推進
 - ◆自然、歴史・文化、食などの魅力活用
 - ◆効果的な広域連携の推進 ◆体験型観光の推進
 - ◆海を生かした回遊性向上の検討
 - アミューズメント機能の充実
 - ◆誘客力のある観光イベントの創出・充実
 - ◆観光施設の魅力づくり ◆リバーサイドの活用検討
 - 鹿児島素材を生かした多様なツーリズムの展開
 - ◆グリーン・ツーリズムの推進
 - ◆ブルーツーリズムなどニューツーリズムの推進
- II **稼ぐ観光につながる誘客推進**
 - 戦略的なマーケティング・プロモーションの展開
 - ◆DMOによる地域連携マーケティングの推進
 - ◆国内外からの誘客につながる効果的なプロモーションの展開
 - ◆本市出身者と連携した観光プロモーションの推進
 - MICE※3による誘客促進
 - ◆多様なMICEの誘致・受入の推進
 - ◆フィルムコミッション※4の推進
 - 観光クルーズ船の誘致・受入
 - ◆関係機関と連携した受入体制の充実
 - ◆クルーズ船乗船客の回遊性向上
- III **ホスピタリティあふれる受入体制の充実**
 - 観光人材の育成
 - ◆高いスキルの観光ガイドの育成
 - ◆市民ぐるみのおもてなしの推進
 - 世界標準の受入・案内機能の充実
 - ◆観光案内機能の強化 ◆多言語化など外国人対応の充実
 - ◆食の多様性など各市場に応じた受入体制の充実
 - ◆ユニバーサルツーリズムの推進 ◆磯新駅設置の促進
 - 安心感を高める危機管理体制の強化
 - ◆危機事象における観光客への対応強化
 - ◆風評被害への対応強化

目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「観光がまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	39.1%	73.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
観光消費額(総額)	604億円	1,600億円	市観光統計及び市観光消費額調査
宿泊観光客数	2,076千人	4,000千人	市観光統計
1人1泊当たりの観光消費額	28,800円/人泊	31,000円/人泊	市観光消費額調査
知人に鹿児島市への旅行を勧めたい観光客の割合	46.3%	100.0%	市観光消費額調査

市民みんなで

- 市民・地域** ◆地元の魅力を楽しみ、一人ひとりが「鹿児島ファン」として、観光客におもてなしの心を持って接しましょう。
- 事業者・団体等** ◆安心して快適に観光できる観光地づくりを進めましょう。
◆新たな視点や連携により、鹿児島の素材の付加価値を高め、観光消費額の向上を目指しましょう。

※2 ジオパーク：地質遺産を保護し、教育・観光に活用することで地域の振興に生かすユネスコの正式事業。
※3 MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。
※4 フィルムコミッション：映画等のロケーションを誘致し、撮影をサポートすること。



2 スポーツ交流・振興の推進

施策の目標

スポーツを通じて活力あるまちを目指します！

現状と課題

スポーツの持つ魅力の高まり

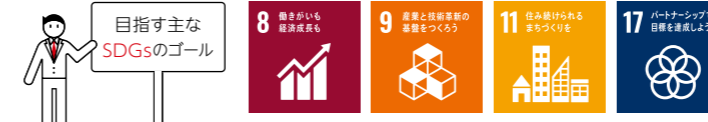
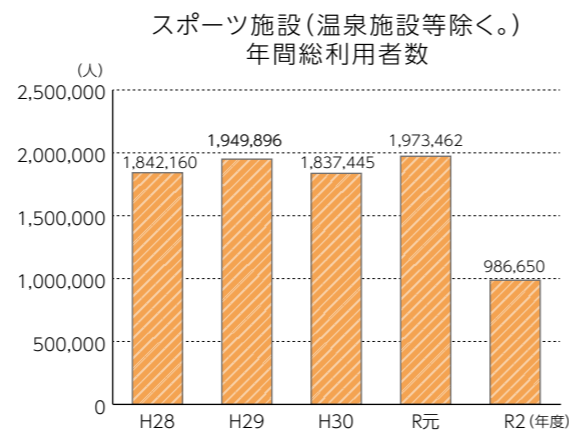
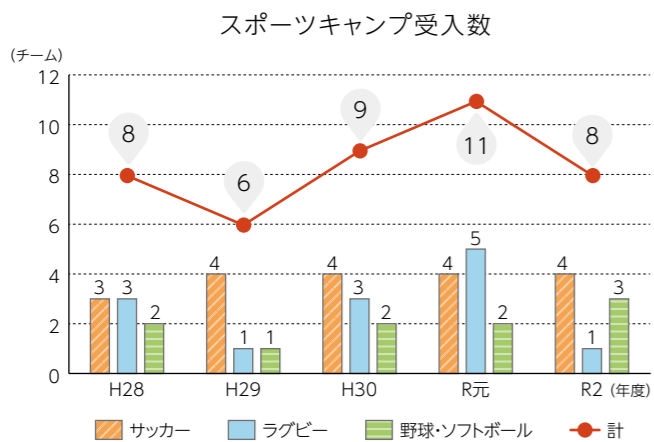
- 鹿児島マラソンやスポーツキャンプ、特別国民体育大会等を通じた「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツの楽しみ方がスポーツ参画人口の拡大につながっています。
- 自然・景観、歴史・文化、温泉、食など、さまざまな地域資源とスポーツコンテンツ等を融合させ、さらに魅力を高める動きが各地域で広がっています。

地元プロスポーツ・スタジアム等への期待

- スポーツを通じた活力あるまちづくりを牽引する上で、地域資源である地元プロスポーツチームなどを育成する重要性が高まっています。
- サッカー等スタジアムなどは、まちづくりやにぎわい創出の拠点となる役割を担うことが期待されています。

スポーツニーズの高まりと多様化

- 社会環境やライフスタイルの変化により、eスポーツ*を含め、スポーツニーズが多様化しているほか、スポーツを支える担い手の役割も変化しています。
- 日常生活の中でライフスタイルやそれぞれの体力・技術、目的・興味に応じて、スポーツを気軽に楽しめる機会を充実させる重要性が高まっています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大やスポーツ施設の老朽化などに対し、安心・安全にスポーツを楽しむ環境づくりへのニーズが高まっています。



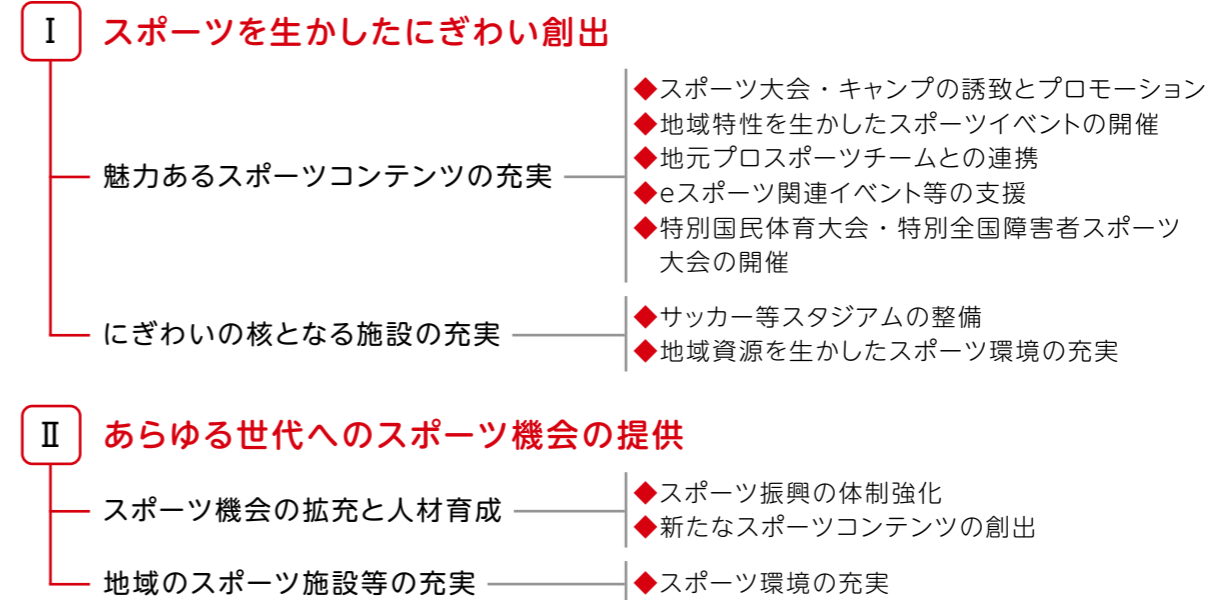
基本的方向

- I スポーツの多様な楽しみ方を提案し、まちなにぎわい創出と交流人口の拡大につながるようなスポーツコンテンツ・施設の充実を図ります。
- II 市民の目的や体力に応じたスポーツ機会の充実を目指し、あらゆる世代がスポーツに親しむことができる環境整備を図ります。

◆主な取組



施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「スポーツがまちに活力を与えている」と感じる市民の割合	42.4%	50.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
スポーツキャンプの受入数	8チーム/年	5年間で50チーム	
スポーツ施設の利用者数	987千人	2,170千人	

市民 みんなで

- 市民・地域
 - ◇スポーツイベントを楽しみ、地元プロスポーツチームを応援しましょう。
 - ◇運動を習慣づけるとともに、地域のスポーツ活動等に参加し、心身の健康増進を図りましょう。
- 事業者・団体等
 - ◇スポーツイベント等の開催をまちなにぎわい創出につなげましょう。
 - ◇スポーツを通じた地域振興・貢献に取り組みましょう。

*eスポーツ：コンピューターゲーム等を用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。



3 地域産業の活性化

施策の目標

多彩な“人財”が活躍し、持続可能な経済活動が展開されるまちを目指します！

現状と課題

社会経済情勢の変化や技術革新の進展

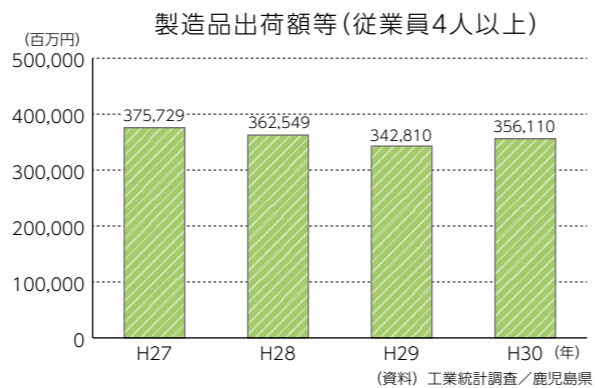
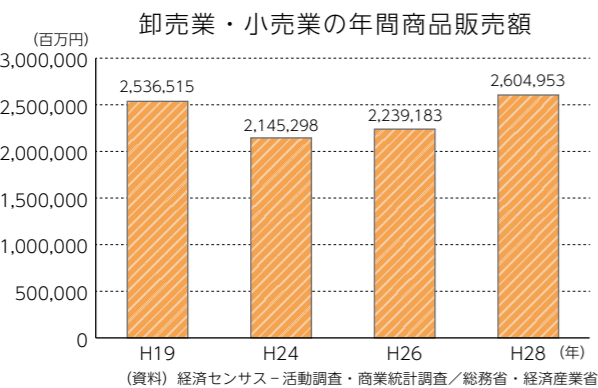
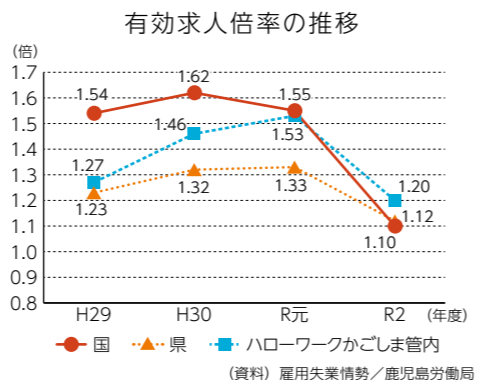
- 人口減少に伴う消費市場の縮小やEC(電子商取引)※1市場規模の拡大など、地域産業を取り巻く環境は大きく変化してきています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大は、事業活動の停滞や消費マインドの低下など、地域産業に重大な影響を与えています。
- 中小企業経営者の高齢化が進行し、後継者の不在など、事業の継続に課題を抱えている企業が増加しています。
- 技術革新が急速に進展する中、先端技術を活用した生産性の向上の可能性が広がってきています。

国内市場の縮小とグローバル化

- 国内市場の縮小が見込まれる一方、国際的な経済連携関係が構築されるなど、世界の経済圏は変化し、海外での新たな市場獲得の可能性が広がっています。

若年層の流出と労働力人口減少による人手不足

- 新卒者県内就職率が低く、若者の地元定着は厳しい状況が続いているほか、労働力人口減少による人手不足への対応が求められています。



基本的方向

- I** 新たな事業展開等の促進や新たな価値を生み出す人材等の創出のほか、企業立地の推進などにより、新たな産業の創出を図ります。
- II** ビジネス環境の変化への対応を支援するとともに、地域の中核を担う商店街やものづくり産業の活性化を図るなど、地域を支える産業の成長促進に取り組みます。
- III** 海外取引に関する事業者の販路拡大を支援するとともに、海外との円滑な取引のための環境整備を行うなど、海外展開の促進を図ります。
- IV** ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、市内事業所の労働環境整備を支援し、働き手の事情に応じた多様で柔軟な働き方を促進します。また、働く意欲のあるすべての人の就労を促進するとともに、若者の地元定着を図ります。



施策の体系

- I 新たな産業の創出**
 - 新たな事業展開等の促進
 - ◆新たな産業やサービス等の創出支援
 - ◆急成長を目指す企業や起業家の支援
 - 新たな価値を生み出す人材等の創出
 - ◆クリエイティブ産業の振興
 - ◆新規創業者等の育成支援
 - 企業立地の推進
 - ◆戦略的な企業誘致・増設等
- II 地域を支える産業の成長促進**
 - 生産性向上・経営基盤強化の促進
 - ◆ECサイトの導入などビジネス環境変化への対応支援
 - ◆事業承継※2を支援する体制の充実
 - 魅力ある地域拠点づくりの推進
 - ◆商店街等の活性化支援
 - ものづくり産業の活性化支援
 - ◆担い手育成や販路拡大等の支援
 - ◆伝統的工芸品産業の振興
- III 海外展開の促進**
 - 市場拡大を目指す事業者への支援
 - ◆海外取引に関する情報提供や海外展開へ向けた支援機能の充実
 - ◆海外への販路拡大の支援
 - 円滑な取引に向けた環境整備
 - ◆港湾関連施設等の整備促進
 - ◆流通関連基盤の機能強化や整備促進
- IV 魅力ある就業環境と担い手の確保**
 - 労働環境の整備促進と多様な働き方の確保
 - ◆働く意欲のあるすべての人の就労促進
 - ◆新たな働き方への取組支援
 - 事業所の人材確保支援
 - ◆UIターン人材の確保支援
 - ◆産学官連携による若者の地元定着の推進



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「産業振興が図られ雇用機会に恵まれるなど、地域産業が活性化している」と感じる市民の割合	13.5%	31.8%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
本市支援による新規創業者数	33事業者/年	5年間で180事業者	
1事業所当たりの製造品出荷額等(従業員4人以上)	76,254万円	82,538万円	県工業統計
本市の事業活用による海外展開を伴う商談成約件数	10件/年	5年間で80件	
鹿児島公共職業安定所(ハローワークかごしま)管内の新規学卒者の県内就職率	65.1%	66.6%	鹿児島公共職業安定所統計

- 市民みんなで**
 - 市民地域**
 - ◆市内企業の製品・サービス等に対する理解を深め、積極的に利用しましょう。
 - 事業者団体等**
 - ◆新たな事業展開や付加価値の高い製品等の開発に取り組みましょう。
 - ◆デジタル化等を通じて、効率的なビジネス環境づくりを進めましょう。
 - ◆多様な働き方を推進し、職場の魅力向上に取り組みましょう。

※1 EC(電子商取引)：インターネットを利用して、受発注がコンピュータネットワークシステム上で行われること。
 ※2 事業承継：会社の経営権や資産を後継者に引き継ぐこと。



4 中心市街地の活性化

施策の目標

観光・商業・交流によるにぎわいあふれる中心市街地を目指します！

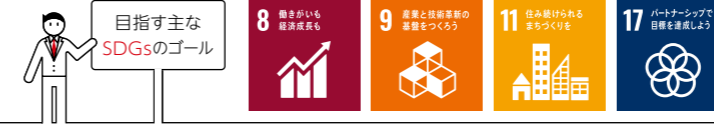
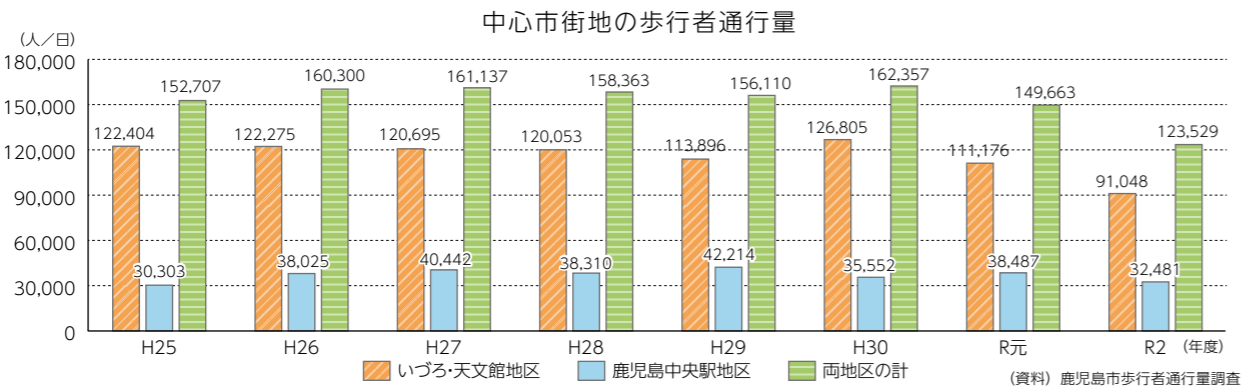
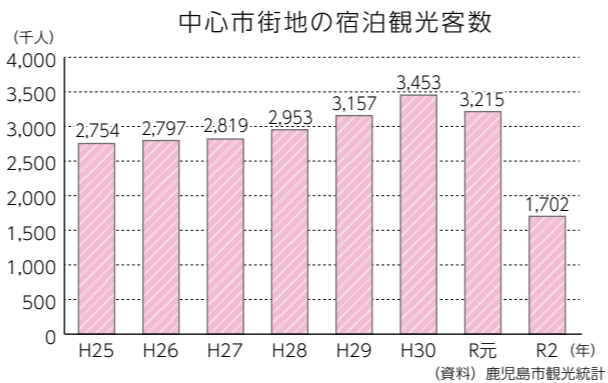
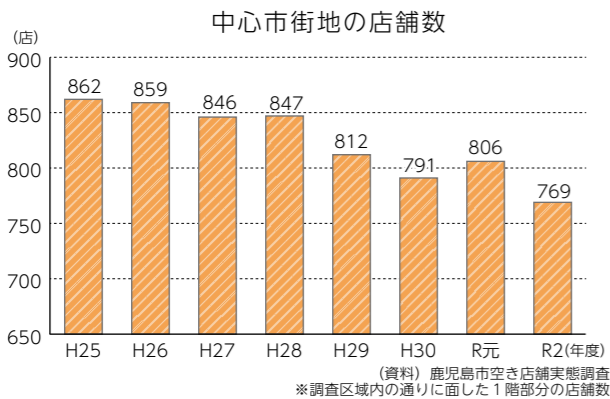
現状と課題

商業機能の集積度合いの低下

- 中心市街地域外の大型商業施設の増加やEC市場規模の拡大などにより、中心市街地の商業機能の集積度合いが相対的に低下しています。
- それに伴い、市民の中心市街地への来街機会が減少しています。

観光客を街なかに誘導する取組の必要性

- これまでの取組により、中心市街地の入込観光客数や宿泊観光客数は堅調に推移していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年は大きく減少しました。
- また、市全体でのさらなる人口減少や個人消費の縮小など、地域経済への影響が懸念されます。
- 街なかにおけるにぎわいと活力を維持し、向上させるためには、中心市街地にさらに多くの観光客を呼び込み、滞在させるための取組が必要です。

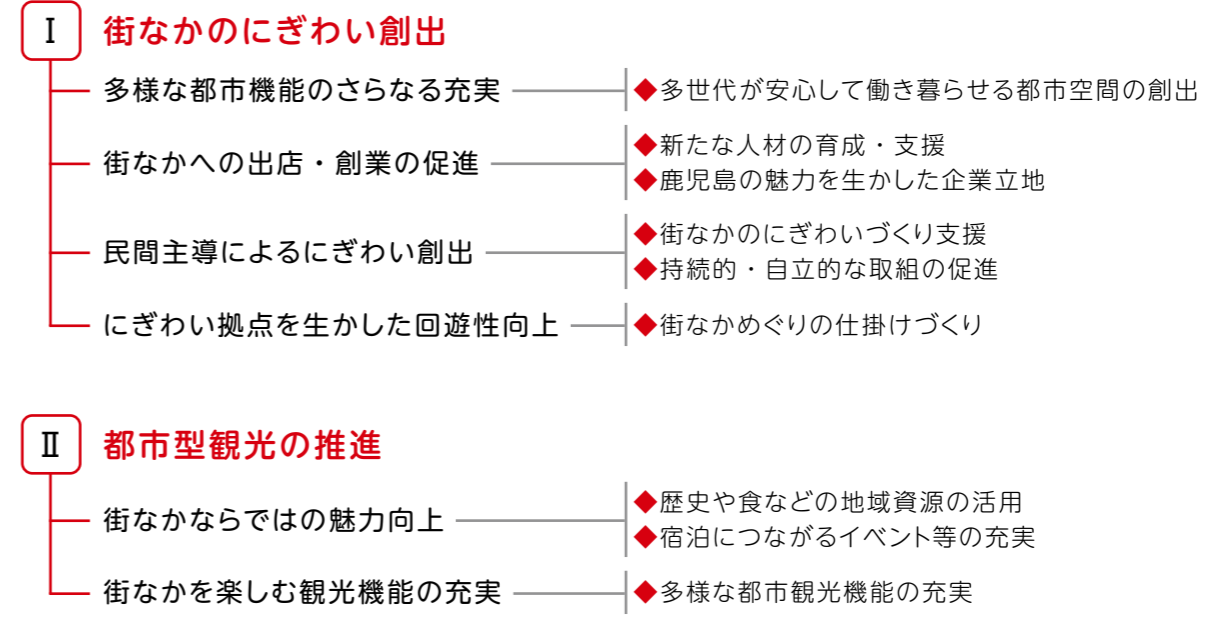


基本的方向

- I 商業・居住・業務機能ややすらぎ空間などの都市機能のさらなる充実、街なかへの出店・創業を促す取組など、街なかのにぎわい創出を進めます。
- II 多彩な地域資源やイベントの充実等による街なかならではの魅力向上や街なかで過ごし楽しむ機能の充実により、都市型観光を推進します。

◆主な取組

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「中心市街地がにぎわっている」と感じる市民の割合	31.6%	43.9%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
中心市街地の店舗のうち営業している店舗の割合	89.4%	91.2%	市空き店舗実態調査
中心市街地の宿泊観光客数	1,702千人	3,320千人	市観光統計

市民みんなで

- 市民・地域** ◆ 中心市街地を訪問し、買い物やイベントへの参加など、街なかならではの魅力を楽しみましょう。
- 事業者・団体等** ◆ 地域住民や行政と協力して中心市街地のにぎわいづくりや魅力の向上に取り組ましましょう。



5 農林水産業の振興

施策の目標

魅力ある地域資源を育み、生かし、つなげる持続可能な農林水産業の確立を目指します！

現状と課題

高齢化による担い手の減少

- 高齢化が進み、農林水産業従事者数は減少しています。
- 新規就業者や後継者の育成を図っていますが、生産物の価格低迷や資材の高騰などにより、経営は不安定な状況です。

気候変動等による生産環境の変化

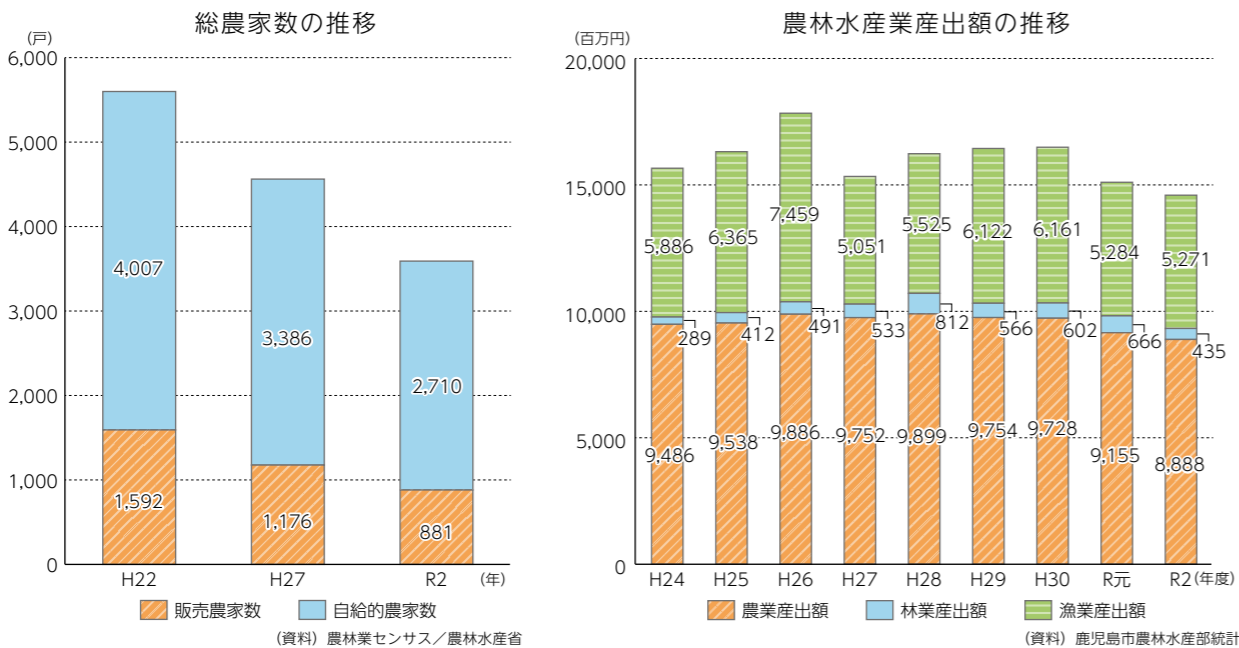
- 平均気温の上昇による影響や新たな病害虫の発生、鳥獣による農作物等への被害など、生産環境が変化しています。

生産基盤の機能維持

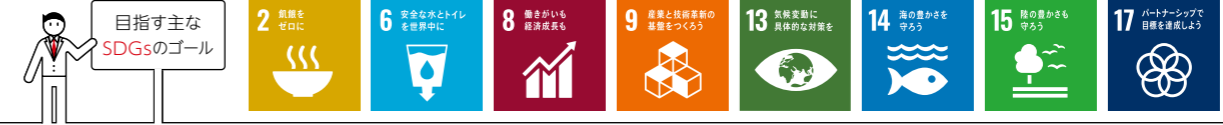
- 自然災害の頻発化、農道や水路等の生産基盤の老朽化、遊休農地や管理不足の森林などにより、国土の保全や水源かん養^{*1}等の多面的機能の低下が懸念されています。

消費者ニーズの多様化や他産地との競争激化

- 単身者・高齢者世帯の増加やライフスタイルの変化などにより、調理済み食品等の利用や健康への関心の高まりなど、消費者ニーズは多様化しています。
- 少子高齢化等に伴い国内市場が縮小し、TPP11^{*2}や日米貿易協定^{*3}の発効などにより、輸入の増加も懸念され、他産地との競争は激化しています。



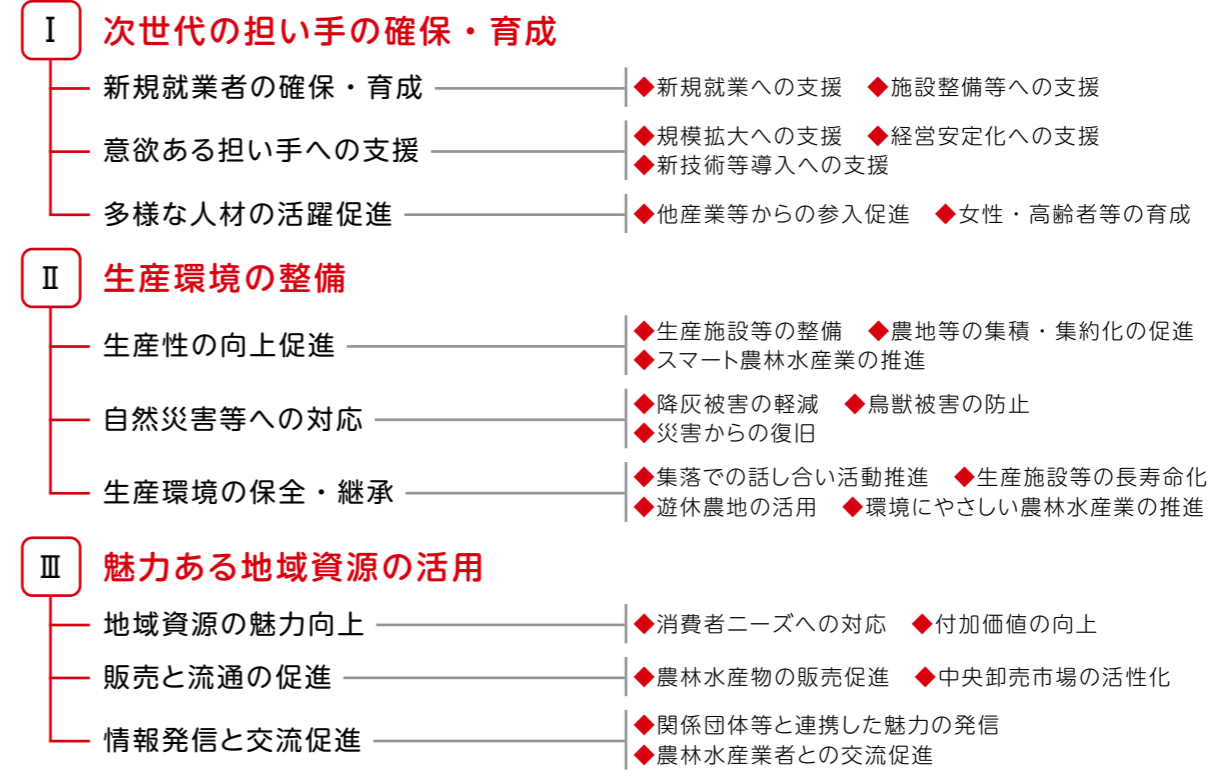
^{*1} 水源かん養：農地や森林などが持つ、洪水の防止や濁水を緩和させる機能。
^{*2} TPP11：環太平洋において幅広い分野で21世紀型のルールを構築する経済連携協定のこと。
^{*3} 日米貿易協定：日米間で一定の農産品と工業品の関税を撤廃または削減するルールのこと。



基本的方向

- I 新規就業者及び後継者等への支援や多様な人材の活用を図るなど、今後活躍する次世代の担い手の確保・育成に取り組めます。
- II 将来にわたって農林水産業を営んでいくために、スマート農林水産業^{*4}を推進するなど、生産環境の整備に取り組めます。
- III 地域の有する“人材、農林水産物、それらを取り巻く環境”などの地域資源の活用を図ります。

施策の体系



目標指標

このようなまちを目指します!	現況	目標(R8)	算出方法
「農林水産業の振興が図られている」と感じる市民の割合	67.6%	71.0%	市民意識アンケート調査
主な指標	現況	目標(R8)	算出方法
農林水産業の新規就業者数	24人/年	5年間で150人	市農林水産部統計
農林水産業産出額	14,594百万円	15,774百万円	市農林水産部統計
6次産業化 ^{*5} ・農商工連携 ^{*6} 等によってつくられた新商品数	6品目/年	5年間で50品目	市農林水産部統計

市民みんなで

- 市民・地域**
 - ◆ 地元の農林水産物・農林水産業の魅力を多くの人に伝えましょう。
 - ◆ 地元農林水産物の消費に努めましょう。
- 事業者団体等**
 - ◆ 環境負荷低減に取り組むとともに、安心・安全かつ新鮮で良質な農林水産物の安定供給に努めましょう。
 - ◆ 多様なニーズへの対応や付加価値向上に取り組む、他産地との差別化を図りましょう。

^{*4} スマート農林水産業：ICT等を活用し、省力化や高品質生産等を実現する新たな農林水産業のこと。
^{*5} 6次産業化：農林水産業者が生産だけでなく、食品加工や流通・販売等にも関わること。
^{*6} 農商工連携：農林水産業者と商工業者等がお互いの技術等を持ち寄って、新商品開発等に取り組むこと。